

急性期病院における 高齢者の尊厳を守る看護実践 ～身体拘束をあたりまえとしない看護～

2019年9月15日（日）
13：00～16：30

場所：小倉記念病院

（〒802-0001福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目2-1）



- JR小倉駅・新幹線口より、ペデストリアンデッキ（歩行者回廊）で直結。徒歩約7分。
- 病院1階の「時間外出入り口」から入館して下さい。

日本老年看護学会の「急性期病院において認知症高齢者を擁護する」立場表明2016では、本人重視の医療・ケアの推進策の一つに「身体拘束をあたりまえとしない医療・ケア」を提言しています。平成28年度診療報酬改定で始まった認知症ケア加算が後押しとなり、身体拘束に関する関心が高まる一方で、急性期病院では治療優先の環境のもと、事故予防・安全に価値がおかれ、身体拘束が行われている現状が続いている。この研修は、安全・効率・スピードが求められる急性期病院において、立ち止まり、高齢者の尊厳を守る看護実践とは何かをあらためて考える機会にしたいと思います。

対象者：急性期病院で働く看護管理者・看護職者 60名

プログラム： 1. 講義・実践報告

- ・立場表明、ガイドライン等の解説
- ・GCNSまたはDCNによる実践報告

2. グループワーク

お申し込み：締切 2019年9月2日（月）必着

*裏面の注意事項をご確認のうえ、下記の方法でお申し込みください。

FAX・郵送

参加申込用紙に必要事項をご記入の上、
お申し込みください。

インターネット

日本老年看護学会公式サイト
(<http://www.rounenkango.org>) よりお申し込みください

参加費

会員：1,500円
非会員：3,000円